

講座だより

第5号
9月発行

9月21日(土)に「磐田商工会議所」にて第4回目の養成講座を実施しました。第4回講座は「教材としての森林」と題し、キープ協会の坂川実基氏と共育工房IPPOの福島計一氏を講師にお招きして、野外体験を多く取り入れた講座を実施しました。それぞれの講師に屋外のフィールドを教材とした体験と、屋内で木材を教材としたプログラムを実施していただき、その後理解を深めるために振り返りを実施しました。以下、講座の様子です。



【講師の坂川実基氏】



【インタープリテーション体験の様子】

午前中は坂川氏による、森林の中でのプログラムを体験する時間でした。「視点を変えて森を歩」をテーマとして、鏡を利用したアクティビティや木の模様を目玉シールを貼って顔を作り何を言っているかを想像するアクティビティなど、まさに視点を変えるプログラムが実施されました。テーマに沿った一貫性のあるプログラムを体験し、「まさにやりたいことはこれです」という声が聞こえるなど、参加者は満足している様子でした。



【講師の福島計一氏】



【クラフトワークの様子】

午後は屋内でも開催できる森林環境教育として、木材を活用したクラフトワークを実施しました。今回は木片を紙やすりをかけて仕上げていくお守り作りでした。ただ作成して終わるのではなく、作成途中にさわり心地の変化を肌で感じたり、香りを楽しんだり、五感で木材を感じる工夫がありました。その後プログラムの振り返りの時間を設け、体験したプログラムの理解をより深めることで、プログラム実施への意欲につなげました。

《発行元》

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課
電話:054-221-2849 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp